

2021年
7月

津軽保健生活協同組合

藤代健生病院

地域連携室だより

No.16



Earth Shadow at Total Lunar Eclipse 2021



写真提供：名誉院長 坂本 隆

～ 理念・使命 ～

藤代健生病院 理念

1. 患者様との共同の営みとして、医療を行う。
2. 「医療の安全」「医療の質の向上」に努める。
3. 「人間らしく生きる権利の回復」を目指す。

藤代健生病院 使命

- ・ われわれの病院は、病気や障害があっても社会生活から離れることなく普通に生活を出来るように支援する。
- ・ 地域生活する能力を再獲得できるよう援助やリハビリシステムを作り上げ、さらにより良い効果的システムを探求する。

『コロナ禍続く』



室長
吉田 宏美

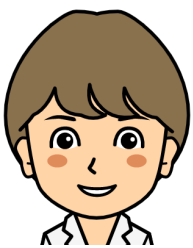
「新年のご挨拶」で、「今年も引き続き、コロナ禍への対応に忙殺されることを覚悟しています」と書きました。果たして、その通りの現実が進行中です。現在、日本のコロナ禍は第4波の只中にあります。目先の損得にと囚われた中途半端な感染対策が、この間何の反省もなく繰り返されています。その中で、医療崩壊がいくつかの地域で現実となりました。崩壊は、「切迫」ではなく「現実」です。中途半端な感染対策に終始する日本社会の「余裕のなさ」が、更なる余裕のなさを生み出しています。しかし、問題の「余裕なさ」は客観的な事実はなく、主観的な「思い込み」でしょう。経済成長という強迫観念または幻想。だれの幻想でしょうか？

経済成長という幻想を捨てることができれば、余裕を取り戻せるのではないのでしょうか。経済成長はお金（交換価値）の増加であって、豊かさ（使用価値）の増加ではありません。「経済成長なき豊かさ」は可能なのです。端的に使用価値を生産する労働をエッセンシャルワークと呼びます。エッセンシャルワーカーが豊かさを生み出しているのです。

エッセンシャルワーカーが中心にいる社会、それが持続可能な「余白と遊びのある社会」の一つのモデルになると思います。

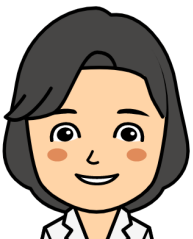
因みに、オリンピック・パラリンピックは開催されるのでしょうか？私が気になるのは、今回のオリパラに「未来へのメッセージ」が感じられないこと。かつて成功体験ももう一度、という反復強迫のように見えること。子供たちがこのオリパラをどのように体験するのかを大人の私が全く想像できないこと、などです。

『着任のあいさつ』



総看護長
鳴海 由紀子

2021年4月から、総看護長になりました鳴海由紀子と申します。精神科でも地域包括ケアがすすめられ、入院医療中心から地域での生活への支援が必要になっています。そのためには、認知症や精神障害者の疾患と生活を支援できる、専門性の高い看護師の育成が不可欠です。現在のコロナ禍における地域の皆様のこころの健康のためにも当院の役割を認識しつつ、尽力していきたいと思っております。不慣れなゆえにご迷惑をおかけすることもあるかと思っておりますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



副総看護長
中西 奈美

2021年4月から看護部副総看護長になりました中西奈美です。精神科歴は約19年になります。認知症を含め精神科の患者さんは目に見えた変化がわかりづらいと言われておりますが、看護部の理念にあるように「人権を尊重し誰もが自分らしく健康に生活するための看護実践」を念頭においた支援をしていきたいと思っております。看護部と地域連携室が連携することで、患者様やご家族にとってより良い支援になることを願っております。よろしくお願いいたします。

『精神保健指定医を取得して』

医師 森山 奈津子



医師として働いている森山です。

この原稿を、“この度指定医を取得した森山先生にお願いします”と振られたので、それに素直に乗っかって。

指定医というのは、精神科では精神保健指定医のことを指し、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に定められている、医師の国家資格です。主な職務としては、医療保護入院を必要とするかどうかの判定、入院中行動制限を必要とするかどうかの判定などがあります。（医療保護入院というのは、本人が病状により正常な判断ができない状態で、入院治療が必要である場合に家族等の同意での入院のことです。）資格取得のためには、一定の経験を積んだ後に症例レポートの提出と面接試験が課されています。レポートは、1字でも間違いがあると不合格になることもあるため、何度も何度も強迫的に見直すことになり、面接試験は、このコロナ禍の中、東京まで行って面接を受けてきたこともあって（14日間自宅待機のおまけつき）、合格の連絡が来た時には「やったー」と叫びたいくらいの気持ちにもなるのですが、手放して喜べないものでもあります。というのは、治療に必要とは言え、本人の意思によらない入院や行動制限を自ら判断することになるため、より責任が重くのしかかることとなります。人権に配慮しつつ、適切な精神科医療が提供できるよう努めていきたいと思えます。



日々の診療では、医療だけではどうにもならないと思われる相談やケースも多く舞い込んできます。（必要としているのは、医療なのか、福祉なのか、はたまた刑事司法なのかというそもそもの議論が必要なこともあります。）関係各位様のお力をお借りしたい場面も多々ありますので、今後ともよろしくをお願いします。

「藤代健生病院大会」



6月30日（水）藤代健生病院デイケア体育館にて、職員29名の参加で開催されました。本大会は新型コロナウイルス感染防止の観点から、参加者は医師及び職責者のみの参加としました。

第一部は、各職場から2020年度BSCまとめ報告の後、角田事務長による年次総括と今年度方針について報告。第二部では、中西副総看護長による2020年度新型コロナ対応の報告のほか、関谷院長によるガーベラタウン閉鎖の経緯報告、吉田副院長によるリニューアル構想の経過報告（代読：千石副院長）がありました。大会の様子は映像として記録し、参加できなかった職員も視聴することにより、各職場で病院方針を広く共有していきます。

（医局事務課長 平井 佑典）

地域連携室 スタッフ紹介



上段：・大高恵 ・山本明奈 ・古澤菜美 ・新谷尚子

下段：

・主任 ・室長 ・副室長 ・福島千尋
竹田沙織 吉田宏美副院長 金田明子

診療のご案内

※予約制になっております。

2021年7月19日現在

★外来診療案内 精神科一般 もの忘れ外来（も） アディクション外来（ア）

	月	火	水	木	金	土
午前 8時30分 ～11時30分 まで受付	牧口 吉田 関谷 坂本(ア)	千石 吉田 関谷 坂本	牧口 森山 松尾	牧口 千石 関谷 坂本(ア) 山中	牧口 吉田 森山	毎週 交代で 診療します
午後 13時00時 ～15時30分 まで受付	牧口 吉田 山中	千石 吉田	牧口(も) 森山	松尾 千石 関谷	牧口(も) 吉田	

※アディクション（アルコール、ギャンブル、薬物などの依存症）

★はじめての方は地域連携室へご相談下さい。

★医療活動

- ・デイケア・ショートケア
- ・作業療法
- ・精神科訪問看護
- ・家族教室 第2（土）開催
- ・家族会（ひまわり会）偶数月第3（金）開催
- ・認知症看護相談室（予約制）
- ・無料低額診療事業

★入院診療案内

一般精神科病棟（開放・閉鎖） 精神科急性期治療病棟 認知症疾患治療病棟

★MAP



【病院へのアクセス】

車

東北自動車道 大鰐/弘前 IC または
黒石 IC から30分

路線バス

弘前駅 弘南バス藤代営業所行
藤代停留所下車[向かい]
藤代営業所下車[徒歩3分]

組合員バス（無料）

★お問い合わせ 津軽保健生活協同組合 藤代健生病院 地域連携室

〒036-8373 青森県弘前市大字藤代2丁目12の1

TEL: 0172-36-5181 (代表) FAX: 0172-36-2823